

いもち病（葉いもち）情報第2号

平成23年6月30日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

6月29日までのBLASTAM（水稻いもち発生予測システム）による葉いもち感染好適日の推定結果（表）によれば、6月17日から21日にかけて稲武を除き県内各地で感染好適日（●印）が出現しました。また、前号でお知らせしましたように、5月27～29日と6月1～2日に県内の広い地域で感染準好適条件が出現しました。いもち病菌の孢子がイネ葉上にあれば、感染好適条件が満たされた日から7日前後で病斑が形成され、10日から2週間で目立つようになります。

天気予報によれば、向こう一週間は、最高気温と最低気温はともに平年より高く、降水量は平年並と見込まれています。高温が続く間は感染好適条件が出現しないと考えられます。しかし、曇雨天が続き気温が平年並に近づく場合には発生が急速に拡大する可能性があります。本田を見回り、発生を確認したらキタジンP粒剤、オリブライト1キロ粒剤やコラトップジャンボなどで防除しましょう。

表 BLASTAMによる葉いもち感染好適日の推定結果(6月16日～6月29日)

日付	尾張				西三河		東三河			中山間	
	愛西	南知多	東海	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	伊良湖	豊橋	新城	稲武
6/16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/17	●	—	●	●	●	●	●	2	4	●	8
6/18	9	5	—	—	—	—	—	—	—	—	6
6/19	●	—	●	●	●	●	4	●	2	2	①
6/20	9	9	●	4	6	●	●	2	—	●	9
6/21	6	●	2	—	—	●	●	●	●	④	—
6/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/23	—	—	—	③	—	—	—	—	—	—	—
6/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/27	5	—	3	—	6	2	1	—	—	2	8
6/28	8	—	4	4	5	—	—	—	—	—	4
6/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- ：好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、いもち病発生の好適条件が現れた）
 - ④：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が比較的低温、その平均気温に必要な湿潤時間より短い）
 - ③：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃の範囲外）
 - ②：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上）
 - ①：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満）
- 数値：湿潤時間が10時間未満である湿潤時間数
—：好適条件なし（いもち病発生の好適条件が現れなかった）